



BUAISOU.

縄夏生

Nawageshō

June 1–July 13, 2025
Ryosokuin Zen Temple, Kyoto

【両足院 初夏の特別公開／縄夏生 BUAISOU 展覧会のご案内】

【縄夏生：BUAISOU 展覧会】

会期：2025 年 6 月 1 日(日)～7 月 13 日(日) 会期中無休

時間：12:00～16:00 (閉門 16:30)

拝観料：1,000 円、中高生 500 円 (本堂、書院拝観)、団体 900 円 (20 名以上)

※庭園散策をご希望の方は予約制特別拝観へお申し込みください。

【予約制特別拝観：半夏生の庭園散策付】

受付時間：9:30 / 10:00 / 11:00 ※ウェブサイトより事前にご予約をお願い致します。

定員：各回 20 名 (先着順)

拝観料：2,000 円 ※ご予約後のキャンセル・変更は承っておりません。予めご了承ください。

【呈茶・茶会】

庭園内にある大村梅軒好みの茶室「臨池亭」におきまして少人数での茶会、および呈茶を開催いたします。通常は一般非公開の茶室にて BUAISOU による特別な設えの中、作品をご鑑賞いただきながらの一品 (抹茶とお菓子) を楽しんでいただけます。

○呈茶

開催日時：基本的に毎日 10:00～15:00 (お寺の行事、茶会開催日などは変更になる場合もございます)

料金：1,500 円 (税込・事前予約不要 / 当日受付決済)

○茶会

開催日程：6/1(日)、8(日)、21(土)、29(日)、7/5(土)、12(土)

時間：13:00～14:00 / 14:00～15:00 の 1 日 2 席、7/5(土)は 14:00～15:00 の 1 席のみ

料金：13,200 円 (税込・拝観料込み・BUAISOU の手ぬぐい付 / 各席 5 名まで)

【展示関連販売・半夏生授与品】

BUAISOU による藍染の手ぬぐい (6,600 円 税込)、半夏生守 (2,000 円)

水彩御朱印 (1,000 円)、はんげしょうの宝珠 (御菓子丸製作・価格未定)

BUAISOU.

徳島県を拠点に原料となる藍の栽培をはじめ、染(すくも)造り、染色、デザイン、製作まで昔から分業制であった藍染業を一貫して行い、藍染のオリジナル商品の製作、コラボレーション、国内外での展示やワークショップなどにも取り組み、様々な手法で天然藍の魅力を伝えている。染と木灰汁(あく)、ふすま、貝灰のみで発酵させた藍液で染めた藍は、深く美しい発色と高い堅牢度が特徴である。

2018 年には当初の夢であった、糸をひと縷ひと縷、手染めした藍染めのジーンズも完成し、今後は、綿の栽培や製織、古いミシンのメンテナンスを行いながら縫製まで手がけ、一貫したジーンズ製造を目指している。

2022 年には、香港のアートセンター CHAT にて、個展を開催。

現在は、ユニクロとの「DISNEY IN BLUE」コレクションが発売中。



Scan this QR for more information, bookings, and the English version. 各詳細、ご予約、英語版はこちらからご覧ください。

梅雨の晴れ間、夏の深まりを告げる半夏生(はんげしょう)の頃、京都・両足院にて藍師・染師 BUAISOU による作品展「縄夏生(なわけしょう)」を開催いたします。

半夏生は、かつて田植えの節目とされ、田畑に汗する農家が最も忙しくなる季節でした。一方で、夏を前に藍畑も育成期を迎え、緑の畝に広がる藍の葉は、日々深い蒼を蓄えていきます。季節の移ろいのなか、古くから暮らしに寄り添ってきた藍染と、今も続く農耕の営みが静かに重なり合います。

一歩寺門をくぐれば、世俗の喧騒は遠く去り、ひんやりとした静寂が広がります。苔むした石と白砂の枯山水庭園、池泉回遊式の庭園では、真っ白に色づいた半夏生の葉が梅雨の雨を弾き、初夏の光を受けて揺れ、訪れる人々を迎えます。

本展では、日本の伝統技術「藍染」に現代的な感性を融合させた作品群を展示します。いずれも藍染の技法「型染め」により、縄文様が布に浮かび上がります。半夏生の葉が白くなる様子は、古くは「半化粧(はんげしょう)」と呼ばれ、その呼び名がやがて「半夏生」へと変化したと伝えられています。藍と白のコントラストが織りなす文様も、展覧会名「縄夏生(なわけしょう)」が示すように、まるで藍の布に施された化粧のようであり、半夏生の緑の葉が白く染まる様子とも呼応します。

また、両足院内の茶室「臨池亭」も特別に藍で設えられ、藍に触れながら一品を楽しめる特別な茶会も催されます。藍と茶が織りなす静謐な空間で、五感をひらき、初夏の情景をより深く味わっていただけます。

農村の活気と寺院の静寂。古くから続く手仕事と新しい表現。相反するものが交差する空間のなかで、鑑賞者は静かな物語を見つめます。忙しさの向こう側にある穏やかな風景、そして深い藍の世界に包まれるひととき。どうぞ、ここでしか出会えない初夏の情趣と藍染の物語を、じっくりと感じ取ってください。

期間中、祇園の各所では、BUAISOU による POPUP や期間限定商品などもお楽しみいただけます。

詳しくは、BUAISOU 公式ホームページ(QRコードから入れます)をご覧ください。

<会場> 祇園ないとう、染司よしおか、T.T、立礼茶室「然美」